

キーワードで完ぺき 

歯科衛生士国家試験

平成
29年版
出題基準
準拠

直前マスター 歯科診療補助！ 第2版

歯科衛生士国試問題研究会 編



赤い
チェックシート
付き

医歯薬出版株式会社



歯科診療補助の概要

歯科診療補助の範囲 ★★

歯科診療の補助

- ・ 歯科医師の指示のもとで行う歯科医行為（患者への対面・直接行為）を意味する。→口腔内に直接触れる行為

歯科診療の介助

- ・ チェアサイドアシスタント行為

歯科衛生士法 ★★★

歯科予防処置（業務独占）

「一 歯牙露出面及び正常な歯茎の遊離縁下の付着物及び沈着物を機械的操作によって除去すること」

「二 歯牙及び口腔に対して薬物を塗布すること」

歯科診療の補助（業務独占）

「歯科衛生士は、保健師助産師看護師法第31条第1項及び第32条の規定にかかわらず、歯科診療の補助をなすことを業とすることができる」

歯科保健指導（名称独占）

「歯科衛生士は、前二項に規定する業務のほか、歯科衛生士の名称を用いて、歯科保健指導をなすことを業とすることができる」



保健指導は医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師も行えます。



仮性ポケット内の歯石除去や歯周ポケット内への薬物塗布は、歯科医師の指示により行う診療の補助です。

歯科衛生士の業務 ★★★

歯科診療の補助	〈補助〉	患者への説明、仮封材の除去、暫間被覆冠の撤去 ラバーダム防湿、概形印象、充填物の研磨、 ホワイトニング ブローイング、スケーリング、ルートプレーニング、 歯周ポケット内への薬物塗布
	〈介助〉	チェアサイドアシスタント、器具の消毒・滅菌、歯科 エックス線写真撮影の準備
歯科予防処置	歯面の付着物・沈着物の除去、歯肉縁上歯石の除去、 フッ化ジアンミン銀塗布、フッ化物歯面塗布、小窩裂溝填塞	
歯科保健指導	ブラッシング指導、栄養指導、間食指導	

保険医療制度での歯科診療の補助

- ・ 歯科衛生実地指導料
- ・ 訪問歯科衛生指導料
- ・ 周術期専門的口腔衛生処置
- ・ 機械的歯面清掃処置

実力完成問題

問 歯科衛生士が行う歯科診療の補助で正しいのはどれか。

- a 咬合調整
- b 精密印象採得
- c 補綴装置の装着
- d スケーリング・ルートプレーニング

ポイント

歯科衛生士業務記録 ★★★

- ・ 歯科衛生士が歯科保健指導や歯科予防処置を行った場合には、実施年月日、時刻、処置および指導内容、担当歯科衛生士の署名を歯科衛生士業務記録に記載し、担当医師に報告する義務がある（歯科衛生士法）。
- ・ 保管年数：3年間
 - （その他）処方箋：3年間
 - 技工指示書：2年間
 - 診療録：5年間
- ・ 処方箋、技工指示書、診療録の作成は歯科医師が行う。
- ・ 歯科医師の監督下で口述筆記をする場合には、記述後に歯科医師の確認が必要。

解答へのアプローチ

- ・ 歯石除去は、歯科診療補助としてのスケーリング（歯周病に罹患している患者）と歯科予防処置としてのスケーリング（歯周病に罹患していない患者の予防）がある。
 - ・ 歯科衛生士が歯科診療の補助として行うことができるものを相対的歯科医行為という。
 - ・ 歯科医師以外が行ってはならないものを絶対的歯科医行為という。
 - ・ 絶対的歯科医行為として、診断、表面麻酔塗布、歯科エックス線写真撮影・照射、硬組織の切削、咬合調整、精密印象採得、咬合採得、補綴装置の装着などがある。
- a × 歯科医師の業務である。
- b × 歯科医師の業務である。
- c × 歯科医師の業務である。
- d ○

答

d





模型用材料①－石膏－

石膏の所要性質 ★★

- ・緻密で正確に再現できる。
- ・適度な流動性がある。
- ・硬化後、強さ、硬さがあり、加熱しても変形しない。
- ・膨張、収縮が少ない。
- ・技工操作が簡単にできる。
- ・補綴物と接触しても変質しない。

石膏の取り扱い ★★

手動練和	自動練和
①器材の準備 ②計量 ・水の適温は10～20℃ ③石膏の注入 ・石膏より比重の軽い水を先に入れ、次に石膏を入れる ④練和・脱泡 ・スパチュラは 執筆状 に持ち、30～60秒間で練和する ・練和している途中で水を加えない ・脱泡はパイプレーターを使用する	①器材の準備 ②計量 ③石膏の混入 ④練和・脱泡 ・専用の容器に軽量した水と石膏を入れ、混ぜ合わせた後に、機械にセットする。練和中に容器内の空気が吸引されるため、気泡の少ない石膏泥ができる
⑤石膏泥の注入 ・石膏泥を1カ所から一方に（高いところから低いほうへ）少量流し込む ・パイプレーターの振動が強すぎると気泡が入りやすい ・トレーに石膏泥がかかると撤去しづらい ⑥トレーからの撤去 ・トレーを模型上の歯軸の方向に一挙に外す	

石膏の硬化を速くする方法 ★★★

- ・水量を**少なく**する
- ・水温を**高く**する（30～40℃まで）
- ・練和時間を**長く**する ・練和速度を**速く**する
- ・3～5%の**食塩水**を使用する

模型の保管方法 ★★

- ・変形防止のため、トレースタンドに挟んで水平に保持する。
- ・アルジネート印象材や寒天印象材は乾燥すると収縮や変形を起こしやすいため、湿度の高いところで石膏を硬化させる。

実力完成問題

問 歯科用石膏の種類と用途との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 硬質石膏——対合歯列模型
- b 普通石膏——個人トレー作製のための模型
- c 硬質石膏——インレー作製のための作業模型
- d 超硬質石膏——義歯作製のための作業模型

ポイント



・混水比は各種メーカーにより異なりますので、あくまでも目安です。おおよその数値を覚えておけば大丈夫です。



・硬化膨張：結晶が押し合って硬化するため、内部に空隙が生じ膨張します。

混水比の計算
例) 混水比 0.20 の場合
水の量 / 100 g = 0.2
100 g × 0.2 = 20 mL

歯科用石膏の種類 ★★★

	普通石膏	硬質石膏	超硬質石膏
用途	・ 研究用模型 ・ 個人トレー作製のための予備模型	・ 義歯作製のための作業用模型 ・ 対合歯列模型 ・ 研究用模型	・ 間接法によるインレー冠、ブリッジなどの作製のための作業模型
結晶の型	β	α	α
混水比 (水／粉の割合)	0.35～0.50 40～50mL/100g	0.20～0.30 23～30mL/100g	0.18～0.25 20～25mL/100g
硬化膨張(%) 寸法変化	0.2～0.3 多い	0.1～0.2 >	< 0.1 少ない
強さ	小さい	<	大きい
硬さ	小さい	<	大きい
表面	多孔質で粗い	緻密で滑沢	緻密で滑沢

解答へのアプローチ

- a ○
- b ○
- c × インレー作製には超硬質石膏を使用する。
- d × 義歯作製には硬質石膏を使用する。

答 a, b





保存治療時の診療補助①－前準備－

ラバーダム防湿 ★★★

目的

- ・唾液・汚染物からの隔離（無菌的処置ができる）
- ・施術野の乾燥と明視（作業効率が上がる）
- ・舌・頬粘膜・口唇の圧排，保護 ・治療の効率化
- ・治療器具や補綴装置の誤飲・誤嚥防止（偶発事故の防止）

欠点

- ・歯根歯軸方向が不明瞭 ・においやしめつけで患者に不快感を与える
- ・費用が高い ・ゴム過敏症や口呼吸患者には使用できない

器材と用途

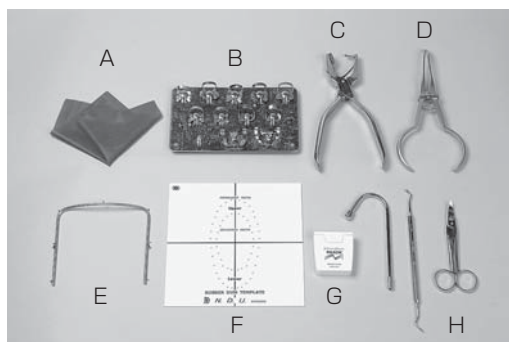
器材	用途
ラバーダムシート(A)	歯を隔離する
ラバーダムクランプ(B)	歯にラバーダムシートを固定する
ラバーダムパンチ(C)	ラバーダムシートを穿孔する
ラバーダムクランプ フォーセツプス(D)	ラバーダムクランプの装着，離脱に使用する
ラバーダムフレイム(E)	ラバーダムシートを固定する
ラバーダムテンプレート(F)	ラバーダムシートの穿孔の位置を決める
デンタルフロス(G)	誤飲防止のために使用する，ラバーダムシート結紮固定，歯間通過補助
ハサミ(H)	ラバーダムシート過剰部を切断する
ラバーダムナプキン	皮膚保護用の紙製ナプキン
排唾管	唾液を吸引する
練成充填器	ラバーダムクランプのウイングにかかったラバーを外す



ラバーダムシート：
シートの厚さによ
って、ライト、ミ
ディアム、ヘビー
などに分けられ、
色は黄色、緑色、
青色など、光の反
射や処置歯を明視
しやすいように工
夫されています。



ラバーダム防湿に
ついては、p.27
も参照してくださ
い。



ラバーダム防湿用器具一式（最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論）

実力完成問題

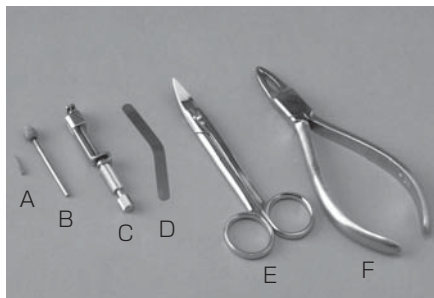
問 タッフルマイヤー型リテーナーを用いて隔壁する場合に必要な器具はどれか。2つ選べ。

- a ウェッジ
- b ジンバッカー
- c 歯肉圧排糸
- d マトリックスバンド

ポイント

タッフルマイヤー型リテーナーによる隔壁法 ★★

手順	使用器材
①マトリックスバンドの試適・調整	・ウェッジ (A)
②リテーナーへの装着	・アプレーシブポイント (B)
③患歯への装着	・タッフルマイヤー型リテーナー (C)
④ウェッジの挿入	・マトリックスバンド (D)
	・金冠/バサミ (曲) (E)
	・コンタリングプライヤー (F)



隔壁法の使用器材 (最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法)

解答へのアプローチ

- a ○
- b × 歯肉圧排に使用する。
- c × 歯肉圧排に使用する。
- d ○

答 a,d